揉捻機

TEA ROLLER

TERADA

J-35

機械の性能を引き出し、使いやすさを追求した制御盤

■揉捻機電動分銅盤　■揉捻機自動分銅制御盤　■揉捻機エアー加圧制御盤

スナップスイッチ操作により分銅は任意の位置に移動します。

★ JWC-3A

茶葉が投入されると分銅が設定位置まで移動し、取出しの３分前に後端まで戻り、玉解きのための空揉みを行います。

★ JWC-10（アナログ制御）

J-200,250に標準装備されるエアー加圧装置用制御盤です。

★ JWC-11～14（マイコン6段制御）

J-200,250に標準装備されるエアー加圧装置の制御盤です。揉捻機を１～４台まで制御が可能です。揉捻時間を最大６工程に分けて各工程の加圧力と工程時間を任意に設定できます。またエアー加圧の特性を生かして茶葉への加減圧が自在にできます。

■仕様

揉 捻 機

型　式	全　幅		全　長		高　さ	重　量	動　力		ヒル本数	回転数	投入量（茶生葉換算値）
	カバーを含む	フレーム	カバーを含む	フレーム			本　機	分銅モーター			
	mm	mm	mm	mm	mm	kg	kw	kw	本	rpm	kg
J-35	1,650	1,120	1,360	1,095	1,500	270	0.75	-	7	~28	18~35
J-60	2,050	1,430	1,690	1,380	1,820	510	1.5	0.2	7	~25	30~60
J-90	2,150	1,530	1,810	1,500	1,890	590	1.5	0.2	8	~24	45~90
J-120	2,430	1,700	2,040	1,660	2,090	725	2.2	0.2	8	~24	60~120
J-200	2,860	2,060	2,490	2,060	2,400	1,200	3.7	-	8	~21	100~200
J-250	3,080	2,150	2,650	2,150	2,530	1,490	5.5	-	9	~19	125~250

※改良の為に仕様の一部を変更する場合があります。

TERADA 株式会社 寺田製作所
本　　社　：〒428-8502 静岡県島田市牛尾 869-1
TEL.0547-45-5111（代表）FAX.0547-45-5110
九州支社　：〒890-0034 鹿児島県鹿児島市田上 8-23-1
TEL.099-282-2846　FAX.099-282-2878
http://www.web-terada.jp　E-mail:info@web-terada.jp

TR020-12

●取扱店

18-08

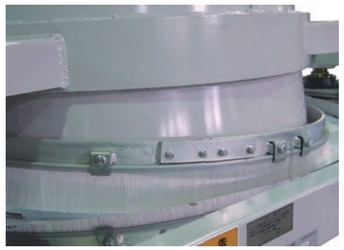
揉捻機 35,60,90,120,200,250K

J-120

充分な揉り込みで茶葉の水分を均一にします。

粗揉機からの取出し茶葉は部分的に水分差があります。とくに”みる芽”では茎と葉に水分差があり、硬葉では葉に水分差が出やすいため、これを均一にするため揉捻操作が必要となります。
また、茶葉を強い力で揉り込むことで葉を軟らかくし、細く締まりのある形状を作りやすくします。

- テーパー型の鉢（J-35 は除く）により茶葉をまとめて塊りにするため、充分な揉り込みができます。
- ストロークを大きくして茶葉の回転率を上げることにより、揉り込みが良くなりました。
- 充分な揉り込みにより茶葉の水分を均一にするとともに軟らかく形状を作りやすくし、色をムラなく染めます。
  また、瑞々しい茎の水分も揉み出し、製品での飴色になることを防ぎます。
- 衛生的で耐久性に優れたステンレス製揉盤を標準仕様としました。
- 掃き込みブラシと段付揉盤により、揉盤の角に茶葉が残ることがありません。
- 取出し口（丸落とし）の大型化により、取出し時間が短縮でき、次工程への搬送もスムーズです。
- 製茶中の分銅加圧操作は専用操作盤にて安全で簡単に行えます。（J-120/200/250 は標準、J-60/90 はオプション）
- インバーター駆動により茶期、原葉の性状に合わせた回転数に変速できます。（オプション）
- 簡単に水洗いができる散水装置が取り付けできます。（オプション）
- J-200/250 には前面にガードが装備され、より安全な製茶作業ができます。（J-120 以下はオプション）
- J-200/250 は分銅に代わりエアー加圧装置が標準となり、加圧制御プログラムにより加減圧が自在にできます。



■掃き込みブラシ

掃き込みブラシは４分割になっており、それぞれが３本のボルトで装着されているため簡単に取り外しでき、清掃が可能です。
（120K以上）

■揉捻機回転数制御盤（オプション）

揉捻機の回転数をインバーターで変速します。茶葉に合わせた回転数に製造中でも可変できます。スロースタートの安心運転で、機械の負荷も低減されます。
（オプション）

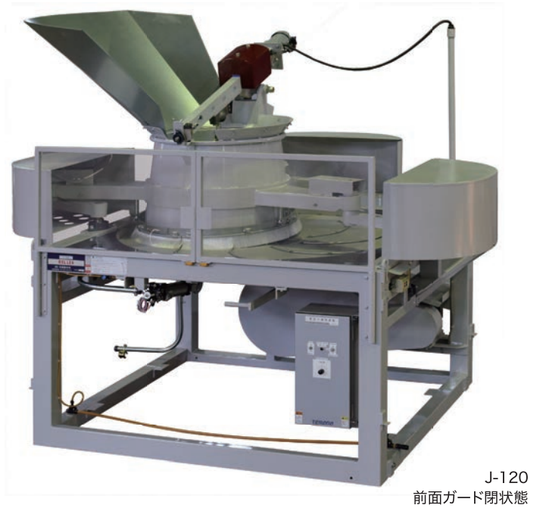
■エアー加圧装置（J-200/250標準）

200,250Kの加圧方式に従来の分銅ではなくエアーシリンダーによる加圧方式を採用、きめ細やかな加圧制御が可能となりました。
また、重い分銅をなくしたことで安全、安心と共に機械への負荷も減りました。

■ステンレス揉盤

衛生的で耐久性に優れたステンレス製揉盤を標準仕様とし、水洗いを可能としました。
揉盤部分を１段下げて茶コボレをなくしました。

J-200



J-120
前面ガード閉状態